

議 事 録
(平成 27 年度 第 1 回総合教育会議)

日時：平成 27 年 4 月 9 日（木）

15:00～16:00

会場：市長室

出席者 笠岡市 笠岡市長 三島紀元
 笠岡市教育委員会 教育長 浅野文生
 教育委員 廣井滋季 三谷信恵 谷 喜一朗 藤井正敏
 事務局 福尾教育部長ほか

事務局 それではただ今より、平成 27 年度第 1 回笠岡市総合教育会議を開会いたします。本日の進行を務めさせていただきます福尾でございます。

開会に当たりまして、笠岡市長から御挨拶をいただきます。

三島市長 （市長挨拶）

事務局 ありがとうございました。続きまして、浅野教育長より御挨拶をお願いいたします。

浅野教育長 （教育長挨拶）

事務局 ありがとうございました。それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

まず、お手元の資料について説明させていただきます。黄色の付箋を付けております。それには番号を付けておりませんが、次第を 1 枚開いていただくと「資料 1－1」として本日の総合教育会議の設置要綱をお示ししております。

次に、「資料 1－2」として国の法改正に伴って総合教育会議が設置されるということで、その要点をまとめております。

その次に、「資料 2－1」として同じく国の法改正に伴う教育大綱の策定について、その要点をお示ししております。

次に、「資料 2－2」として教育大綱と笠岡市の総合計画をはじめ、教育行政重点目標の主なテーマ・スローガン等々をお示ししております。

それから、本日追加でお配りした資料は、それぞれの計画の関係を矢印等でお示ししております。

続きまして、「資料３－１」、「資料３－２」でございますが、こちらは笠岡市教育行政基本方針、それから教育行政重点施策の体系表を添付いたしております。

次に、国の示した第２期教育振興基本計画の概要版を添付いたしております。

次の付箋でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について文部科学省初等中等教育局長通知から抜粋したものを添付いたしております。

次の付箋につきましては、平成２７年度予算の概要説明書、最後の付箋につきましては、予算概要のうち教育費を抜粋したものでございます。

以上が、お手元にお配りした資料でございます。

事務局 それでは、議事に入ります。「（１）笠岡市総合教育会議の設置について」でございます。総合教育会議について若干の説明をさせていただきます。

事務局 （「資料１－２」を基に総合教育会議について説明）

事務局 市長から総合教育会議に対するお考え等がございましたらお願いいたします。

三島市長 事務局から総合教育会議について説明がありましたが、笠岡市においては従来から市長部局と教育委員会は連携が取れていると思っておりますが、新しい教育制度の下にはこのような場の設定も必要なことではないかなと思っております。掲げていることについては、これに準じて進めて行ければと思っておりますが、４の会議の公開と議事録の作成と公表については、個人名以外のものについては公開するべきだと思っております。このあたりは、教育委員さんの御意見をお聞きしながら進めてまいりたいと思っております。

そして、この会議の中で一番重要なのは、大綱の策定に関する協議だと思います。大綱の策定については、十分協議する中で進めてまいりたいと思っております。考えとしては既に教育行政の重点目標があるわけですから、それを基本に大綱を策定する考えを持っても良いのではないかと考えております。それは、教育委員の皆様が既に練っていただいたものを作っているわけですから、その基本を忘れてはいけないと思っております。このような考えで進めさせていければなと考えておりますので、教育委員さんの方から何か御意見を賜れば、私の考えと皆様の考えを上手くまとめていきたいと思っております。

事務局 それでは、各委員さんで御意見等がございましたらよろしく願いいたし

ます。

藤井委員　　今まで次年度の教育委員会の予算について、市長さんにこちら側の思いを聞いていただく機会があったわけですが、引き続きこういう会議でもお願いできればと思っております。

三島市長　　大綱に沿った実施計画のようなものが出れば、それを大いに参考にさせていただきます。これからは、要望ということではなくて、施策の一つだという考えで進めても良いのではないかと思っております。ただ、財源の問題もありますので、お互いに知恵を出し合っていくべきだと思います。

三島市長　　私から言うのもなんですが、協議事項の中に「教育、学術、文化及びスポーツの振興を図るため」とあるが、注記の「国の改正要点にスポーツを追記」とはどういうことなのか。

事務局　　国が示した中にはスポーツという表現は入っておらず、「教育、学術及び文化の振興」という項目でございました。地域の実情に応じた計画ということでありまして、地域の実情に応じた協議ということですので、本市の場合、教育行政の中にスポーツが入っていることから、スポーツを追記したということでございます。

浅野教育長　　私の推測ですが、スポーツ基本法ができてスポーツも文化であるという表記がありますので、国はスポーツとしてわざわざ取り出さなくても「教育、学術及び文化の振興」という表現で良いとしているのではないかと捉えています。ただ一般的に考えて、スポーツがないではないかと考えられるので、スポーツを位置付ける特別な考え方になっております。

浅野教育長　　私も教育長として教育行政重点施策と重点目標が笠岡市の上位計画である総合計画と上手く合致していると思います。教育行政重点施策の「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」は、総合計画における施策の大綱のうち『心豊かなひとづくり』の中で、「充実した学校教育が受けられるまち」とリンクしております。同じように、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」は「学びが人を育てるまち」と、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」は「歴史を守り文化・芸術を育てるまち」と、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」は「いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち」とそれぞれマッチしておりますので、『笠岡の教育』として示したものを、たちまち今年度は進めて行く方向で考えております。

三島市長　　私もそのような考えを最初から持っております。「資料３－２」の教育行

政重点施策にあります4本の柱は尊重すべきと考えます。

浅野教育長 笠岡市の教育行政の基本方針として、人間尊重を基調に「心豊かで活力ある人づくりまちづくり」とあり、この方向性に間違いはないと思いますが、国の学習指導要領の次回改定でも「生きる力の育成」の文言は変わらないだろうと言われておりますので、そういう文言を少し使えば良いのかなと感じているところです。

三島市長 「生きる力」というのは重点施策の中で考えるとどこに入るのか。

浅野教育長 右の項目の「自立した子どもの育成」の中で「基礎・基本の確実な定着と主体的な学習態度の育成」として確かな学力という部分、それからもう一つは豊かな心、それから健やかな体と心、これが生きる力の3本柱です。ここはおそらく文科省も変えないと思います。これからの時代必ず必要であるという捉え方でございますので、そういった言葉も要るのかなと感じております。

三島市長 教育長がよく使われる「知・徳・体」でいいように思いますが。その方が分かりやすいと思いますがどうでしょうか。

浅野教育長 60歳以上の方はよく分かると思います。

廣井委員 道徳教育も始まりますので、そういうことからいくと「知・徳・体」でも十分大きな目標になるような気がします。

廣井委員 一つよろしいでしょうか。先程、藤井委員からもお話がありましたが、教育長と教育委員の話し合いは毎年行われていますが、総合教育会議が開かれるということで、もっと具体的な話を早い段階から市長部局とできるということは非常に良いことだと思います。早い段階から来年の笠岡市の教育をどういう方向性で行くかということを決めることが出来れば、より現場に近いところもそれに沿って色々と計画を立てられます。非常にいい会議を設けることができたと思います。

三島市長 言われて見ればそのとおりだと思います。例年1月頃に教育委員さんとお話をする場がありますが、その頃には大体予算は固まっています。前年の10月頃から新年度事業の事前評価に入りますから、そのあたりのスケジュールに合わせて前倒し出来ますので良いことだと思います。

廣井委員 今まで『笠岡の教育』を作っては来てはいますが、前年の反省を整理しまとめたものを早く活かそうとしても、1年間空けて次の年度にしか活かさないという状況でした。早い段階で総合教育会議の場で話ができれば、もっと早く問題解決に繋がると思います。

三島市長 今，廣井委員さんがおっしゃったようにそういうことをやる中で，教育委員さんとは色々な情報を共有した方が良いと思います。

三島市長 それでは，次の教育大綱や教育振興計画にいくらか入りましたが，（１）の笠岡市総合教育会議の設置については，このあたりにさせていただいて，（２）の今後の教育施策の方向性について入りたいと思います。

事務局 それでは，「（２）今後の教育施策の方向性について」でございます。既に大綱についての色々な思いが出ているところでございますが，教育大綱について簡単に説明をさせていただきます。

事務局 （「資料２－１」を基に教育大綱について説明）

三島市長 教育大綱の計画期間は４～５年を想定しておりますが，教育大綱の計画期間は総合計画の期間と整合を図ることを考えておりますので，笠岡市の総合計画が平成２９年度までですから，今年度を含めてあと３年でございます。したがって，当面は３年の計画期間の大綱で良いのではないかと思います。それから，皆様お忙しいとは思いますが４月末には第２回の総合教育会議を開きたいと考えております。それといいますのも，既に新年度がスタートしておりますから，遅れては意味が無くなると思います。目標として４月末までには教育大綱案の協議をし，そこで決定したいという気持ちで大綱策定の流れを書いております。大綱そのものは，先程，教育長が説明しましたように，今ある笠岡市の教育行政重点目標を基本に考えていったらどうかという気持ちでおります。ですから，先程，教育長が少し申しましたが「資料３－２」にあります４本柱を含めた大綱の原案を作って皆様と協議をさせていただきたいと思っております。

浅野教育長 少し先走って話をしてしまいましたが，大綱につきまして教育委員さんの方で御意見をそれぞれお願いします。

廣井委員 私も今まで教育委員会の方で作っております『笠岡の教育』が，基本的な理念に基づいて総合計画にも準じて作っておりますので，これを基本にすれば良いと思います。一つ思うのが，教育と言えはすぐに学校が頭に浮かびますが，それ以外の場所を考えれば家庭もあるし地域もあるし，ここ何年か言われているのが家庭の教育力の低下，それから地域の教育力の低下です。学校の方はかなり前から教育力の低下が言われていて，充実しないといけなくなっていると思いますが，なかなか満足いく状態にはなっていないという思いがありますので，そのあたりもいくらか大綱の中に入れていったら良いのではないかと思います。今まで『笠岡の教育』の中の４つの目標の中に，地域で

の生涯学習というものは入っていると思いますが、家庭教育の充実というものもどこかに入れたら良いのではないかという思いはしております。

三島市長 親学という言葉がこの頃出ていますが、こちらの方にはあまり出てきません。しかしながら、話の中では家庭教育は大切なんですと必ずどなたかが言われます。また、学校ばかりに任せていてはいけないという言い方もされます。

廣井委員 教育という言葉で考えると、やはり家庭教育とか家庭の教育力という言葉が出てきますから、その部分もある程度中に入れた大綱も必要かなという気はします。

三島市長 地域との連携による教育というものも表現しても良いのではないかという気はします。

三島市長 私が言うのもおかしいのですが、大綱というのは「資料３－２」ではどれに当たるのか。「人間尊重を基調に『心豊かで活力ある人づくりまちづくり』」なのか、それとも右側の４本柱を含めるのか。どこまでを思えば良いのか。

浅野教育長 大綱という言葉からすれば、「人間尊重を基調に『心豊かで活力ある人づくりまちづくり』」が大綱で、右側の４本柱は基本施策という捉え方が良いと思います。ただ、心豊かで活力ある人づくりを推進しますだけで良いのかどうか。もう少し作っても良いのかなという感じはします。

三島市長 教育長が今おっしゃったように、私はこれだけではどういうことをするのか分かりにくいという気がします。

浅野教育長 例えば、生きる力を確実に身に付けさせ心豊かで活力ある人づくりまちづくりを推進しますという文言にすれば、捉え方が大きく変わってきます。このことは、これから詰めてまいります。

三島市長 事務局で案を練ってもらって、それをたたき台に協議し、最終的な決定をすれば良いと思います。

藤井委員 教育行政重点施策の中で市長部局の子ども子育て部門が抜けています。それを大綱へどう入れていただくか難しい部分もありますが、教育委員会の中でよく保・幼・小の連携が出てきますので子ども子育てをキーワードとして、どう入れていくか考えても良いと思います。

谷委員 以前は、幼稚園・小学校・中学校の連携が中心でしたが、今から４年前に小学校に就学する子どもの大部分が保育園から上がる子どもでした。校園長会などでは幼稚園の先生と小学校の先生が交流し、色々な情報交換をされていましたが、保育園の先生方と小学校は、地域によっては何らかの関わりが

あったと思うのですが、そのあたりが十分ではありませんでしたので、その部分を前面に出して色々な情報を小学校に上げていくようにしました。そして、先生方も自分の保育園から上がった子どもの様子を尋ねたり、最初の参観日には小学校へ出向いて、上手くいっていないようであれば小学校と協議して、子どもたちを大切に育てていく部分を打ち出して今やっています。以前は、保育所は別だったのですが、保育所を別にすると子どもの教育が本当に上手くいくのかなと言うところがございます。それと、小学校と中学校の連携ですが、今これは既に始まっています。小学校と中学校はギャップがあるといいますか、なじまない部分がありますので、中学校の先生に小学校に来ていただいて小学校の先生と一緒に専門の授業をしていただければ、子どもたちが中学校というものを体で感じて先生方とのコミュニケーションを取りながら、安心して中学校に上がっていけるように、出口を一つにするということでございます。これは枝葉の部分になりますが大切ではないかと思っております。

三島市長 幼児教育という捉え方をすれば良いのではないのでしょうか。保育所の子どもも幼児教育の中に含まれるという考えで良いと思います。現場では良く連携が大切だと言われます。

谷委員 こども園がもしできるようになったら、当然、保育園と幼稚園は同等で連携していくようになるのではないのでしょうか。

三島市長 そのあたりは、あまり保育という言葉にこだわらなくて良いのかもしれませんが。無理のない程度に、どこかに入れて見ますか。それからいくと、廣井委員さんの言われた親学も重要になってきます。

廣井委員 同じようなことになると思います。

谷委員 今まで進学前の親御さんの学びとかというのは教育長さんありますか。

浅野教育長 2年目になりますが、生涯学習課がそれぞれの保育所に持って来て、体験活動、親との協議の場を作っております。

谷委員 冊子か何かございますか。

三谷委員 幼稚園の親に冊子を配っております。

浅野教育長 印刷したものがございますので、入学前の親御さんに対して配っております。重点施策の「自立した子どもの育成」の中へ幼児教育の充実を挙げておりますから、このところを少し膨らまして書いておく必要があるかなと今お聞きしながら感じました。

三島市長 そのあたりが、藤井委員さんが最初におっしゃった、今までは教育部門だ

けが必要ということから、少し特色が出る部分かもしれません。

浅野教育長 三谷委員さん、何かございますか。

三谷委員 私は、やはりこの重点施策を教育委員みんなで練り上げて自信を持って市民の皆さんに見ていただいているので、これを参考にしてくださるということで大変ありがたく思っています。子どもを教育するのは教員であって、その教員もやはり元気で生き生きと働いてもらいたい。市長さんの公約のように誰もが安心していきいきと暮らせて、また働けてみんなが輝けるようなまちにするためには、教員が元気じゃないと子どもも元気にならないかなと思うので、文言で書くのは難しいのですが、そういう気持ちを持ってこれからの教育行政を教育委員として手助け出来たらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 皆様よろしいでしょうか。時間も少なくなってきました。教育振興基本計画も策定していく流れになろうかと思いますので、ここで教育長の方からそのあたりのお考えをお願いしたいと思います。

浅野教育長 教育振興基本計画を28年度にはきちっとしたものを仕上げなければいけないと思っております。もう『笠岡の教育』をそのままたたき台にして、ベースになることは、はっきりしておりますので、8月の終わりまでには教育振興基本計画を策定します。その中で、表記の仕方が国の教育振興基本計画のように成果目標があって、基本施策があって、そして個別の取り組みがあって、そういう形のものができれば一番良いと思います。そうすれば評価として、教育委員会内の評価、外部委員さんの評価、それから一般の方或いは議員の方の評価も非常に分かりやすくなるだろうなと思えます。そのあたりの評価を見通しながらの教育振興基本計画を策定していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、「(3) 平成27年度当初予算について」に入らせていただきます。お手元に資料がございますので御覧下さい。

市長から特にというところがございましたらお願いいたします。

三島市長 先程もお話が出ましたが、意見交換の場を1月16日に開催しております。そのときに色々と教育予算についての要望をお聞かせいただきましたが、その後に、その要望に対する結果というものをお答えしていませんでした。早めに報告をし、次年度へ向けてというのは重要な事だと思います。ですから、今日は27年度の予算の概略についてお話をしたいと思います。

三島市長 (平成27年度予算の概要説明書に基づき、予算の概略を説明)

(予算概要の教育費抜粋資料に基づき、主な教育費関係予算を説明)

事務局 ありがとうございました。それでは、「4 その他」でございます。何かございましたらお願いいたします。

事務局 ないようでございますので、事務局の方から次回の会議の予定を申し上げます。次回は4月28日(火)を考えております。時間につきましては後日お知らせいたします。以上でございます。

三島市長 時間的な制約の中で色々とお話をさせていただきました。大変ありがとうございました。本当にお互いの理解の基で教育大綱を作ってまいりたいと思っておりますので、今後とも色々な御意見をいただければ大変ありがたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

事務局 これをもちまして、第1回総合教育会議を閉会いたします。